

# HYDRA Super-S LCM

## MHDR-SC800LCM-4T MHDR-SC800LCM-8T セットアップマニュアル

### 本製品の電源を入れる前に

本製品は、輸送時の衝撃による損傷等を考慮し、精密機械であるハードディスク・ドライブを別梱包にしています。ご使用になる際は、必ず電源を切った状態で、左からアルファベット順にハードディスク・ドライブの装着されたドライブホルダーを取り付けてください。

### ドライブホルダーを本体に取り付ける際の注意

取り扱いの際は、衝撃を避けて移動や取り付けをしてください。  
ドライブホルダーを重ねたり、ハードディスク本体の上面を押さえたりしないでください。  
ドライブホルダーのアルファベットを確認し、本体に取り付けてください。  
ドライブホルダーを本体に装着したら、必ずネジで固定してください。

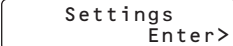
### 構成 パッケージ内容

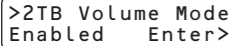
製品本体パッケージ内容物	<input type="checkbox"/> 製品本体 <input type="checkbox"/> eSATA ケーブル <input type="checkbox"/> FireWire800 ケーブル (9pin ⇄ 9pin) <input type="checkbox"/> FireWire400 ケーブル (6pin ⇄ 6pin) <input type="checkbox"/> USB2.0 ケーブル	<input type="checkbox"/> 電源ケーブル <input type="checkbox"/> User Manual <input type="checkbox"/> クイックマニュアル <input type="checkbox"/> 保証書
ドライブパッケージ内容物	<input type="checkbox"/> ドライブホルダー ×4 <input type="checkbox"/> セットアップマニュアル (本書) <input type="checkbox"/> 保証書	<input type="checkbox"/> ユーザー登録カード <input type="checkbox"/> 製品シリアルシール

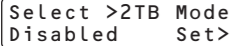
### 2TB 制限について

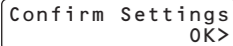
Mac OS 9 / Mac OS X 10.2、Windows 2000 / Me / XP(32bit) では OS やハードウェア等の制限により 2TB 以上のボリュームを正常に認識できません。実質容量が 2TB を超過する RAID 構成でご使用になる際には『>2TB Volume Mode』を無効にする必要があります。

1. 本製品に電源ケーブルを接続し、電源ケーブルのプラグを AC コンセントにしっかりと差し込みます。
2. 電源スイッチを ON にします。
3. 操作パネルの [Select] ボタンを 3 回押します。

 「Settings Enter>」と表示されていることを確認し、[OK] ボタンを押します。

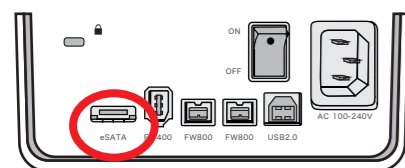
4.  「>2TB Volume Mode Enabled Enter>」と表示されていることを確認し、[OK] ボタンを押します。

5.  「Select >2TB Mode Disabled Set>」と表示されていることを確認し、[OK] ボタンを押します。

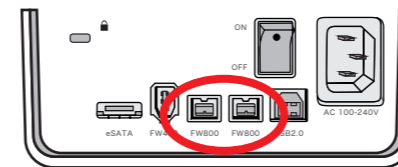
6.  「Confirm Settings OK>」と表示されていることを確認し、[OK] ボタンを押すと設定が完了し、本製品が自動で再起動します。

### 接続方法

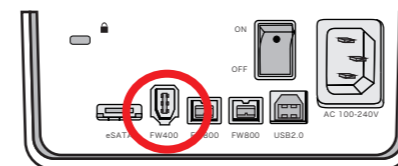
1. 本製品背面の電源コネクタに電源ケーブルを接続します。
2. 本製品を Macintosh / Windows PC と接続します。



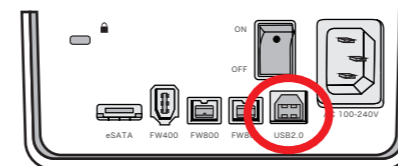
- eSATA で接続する場合  
eSATA ケーブルのコネクタの形状と差し込む向きを確認し、本製品の eSATA ポートにしっかりと接続します。



- FireWire800 で接続する場合  
FireWire 800 ケーブル (9pin⇄9pin) のコネクタ形状と差し込む向きを確認し、本製品の FireWire800 ポートにしっかりと接続します。



- FireWire400 で接続する場合  
FireWire 400 ケーブル (6pin⇄6pin) のコネクタ形状と差し込む向きを確認し、本製品の FireWire400 ポートにしっかりと接続します。



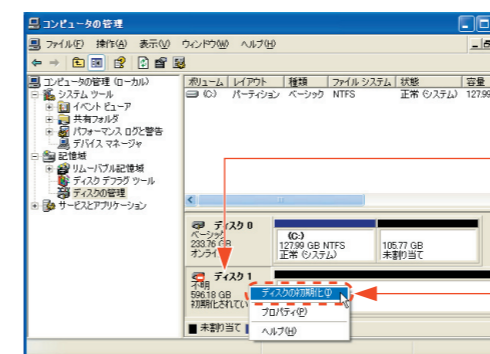
- USB で接続する場合  
USB ケーブルのコネクタ形状と差し込む向きを確認し、本製品の USB ポートにしっかりと接続します。

3. 電源スイッチを ON にし、Macintosh / Windows PC を起動します。

4. Macintosh ではデスクトップ画面にアイコンが表示され、そのままご使用いただけます。



5. Windows で初期化する  
ディスクを初期化する

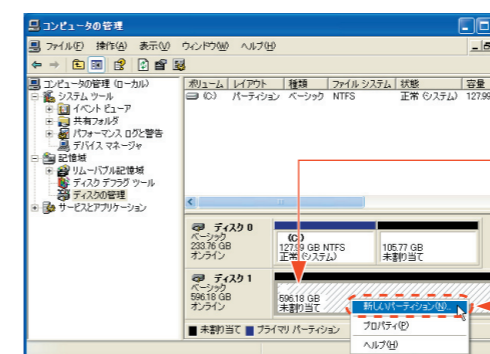


[管理ツール] の [コンピュータの管理] を起動します。  
[管理ツール] は以下の場所にあります。  
Windows XP : [スタート] ボタン → [コントロールパネル] → [パフォーマンスとメンテナンス]  
Windows Vista : [スタート] ボタン → [コントロールパネル] → [システムとメンテナンス]  
Windows 7 : [スタート] ボタン → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ]

「記憶域」の「ディスクの管理」を選択します。  
本製品のディスク情報が表示されているエリアを右クリックし、メニューの「ディスクの初期化」を選択します。

<ディスクの初期化>画面が表示されますので、初期化するディスクにチェックを入れ、OK をクリックします。  
Windows Vista / 7 で 2TB 以上のボリュームを使用する場合は GPT(GUID パーティションテーブル) を選択します。

### パーティションを作成する



パーティションを作成するディスクのパーティションのエリアマップを右クリックし、メニューの『新しいパーティション』(Windows Vista / 7 では『新しいシンプルボリューム』) を選択します。

<新しいパーティション ウィザードの開始>画面 (Windows Vista / 7 では <新しいシンプルボリューム ウィザード>画面) が表示されますので、画面の表示に沿って操作してください。通常は設定を変更する必要はありません。

初期化についての詳細は各 OS のヘルプやマニュアルをご参照ください。

※この画面は一例です。実際に画面に表示されるディスクの数やディスク情報はお使いの環境によって異なります。

## ドライブホルダーの交換と復旧作業

### ●作業を始める前に必ずお読みください

- ・事前に必ずデータのバックアップを行ってください。
- ・障害時にはホットスペアディスクにより自動復旧動作（オートリビルド）が実施されます。
- ・自動復旧動作が完了するまで、3時間から8時間程度を要します。
- ・復旧動作中の本製品に対しても、読み出しや書き込みを行えますが、正常時よりも読み書きに時間がかかります。また、復旧作業中に読み出しや書き込みを行うと、復旧が完了するまでの時間が長くなりますのでご注意ください。

1. 初めてドライブに障害が発生した際は自動で復旧動作が開始します。ホットスペア（予備）として設定されている「D」ディスクが障害の発生したドライブに置き換わります。

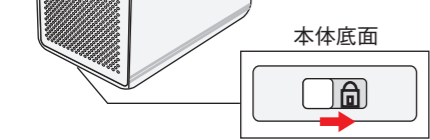


※この時、本製品前面のランプは左図のように点灯 / 点滅します。  
(左図は A ドライブに障害が発生した場合)

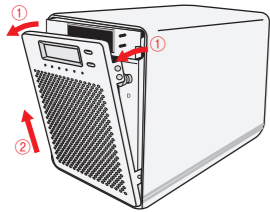


2. 3～8時間程度経過すると、復旧動作が完了します。  
完了後、障害が発生したドライブのランプは点灯したままの状態です。
3. 本製品を PC からアンマウント（接続解除）し、背面の電源スイッチを OFF にします。
4. 本製品から電源ケーブルを取り外します。

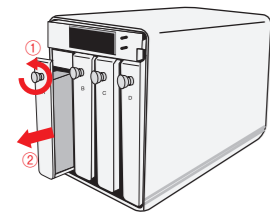
5. 底面のスイッチをスライドした状態のまま、本製品の背面を前に押し出します。  
約 1cm 程中枠が前にスライドした状態になりますので、底面のスイッチから手を離してください。



6. 前面のパネルを取り外します。

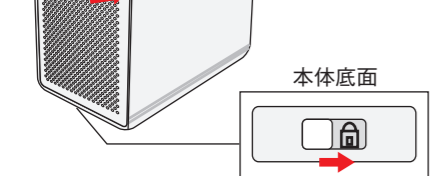


7. 障害が発生したドライブホルダーを取り外します。



8. 交換用のドライブホルダーを取り付けます。

9. 前面パネルを取り付け、底面のスイッチをスライドした状態のまま、本製品の前面を後ろへ押し戻します。



10. 本製品に電源ケーブルを取り付け、背面の電源スイッチを ON にします。
11. 起動後、前面の LCD 画面表示が「RAID5 3 × HDD + S1」と表示されれば復旧およびドライブホルダーの交換は完了です。引き続きご使用ください。

## データ保証について

本製品の中に作成、保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作あるいは他の理由によって破壊された場合、弊社は理由の如何にかかわらずデータの保証をいたしかねます。必ずデータのバックアップを行ってください。

## 安全上のご注意

- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大ケガなど人身事故の原因になります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。
- 本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意事項に従ってください。
  - 本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保障対象外となります。
  - 本製品やパソコン本体に、水などの液体や金属、たばこの煙などの異物を入れないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
  - 本製品を含め、ビニール袋や添付部品は、小さなお子様の手の届かないところに配置/保管してください。触ってけがをする、誤って口に入れる、頭から被るなど思わぬ事故の恐れがあります。
  - AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。本製品付属以外の電源ケーブル（内部接続用含む）、ACアダプタ、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。
  - 電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。
  - ケーブル類や電源プラグは、傷付けたり破損しないように注意してください。ケーブル類を踏みついたり、上に物を載せないでください。傷んだ状態で使用すると、感電や火災の原因となります。
  - ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
  - 電源ケーブル（ACアダプタ）を壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだり、極端に折り曲げたりしないでください。
  - 電源ケーブル（ACアダプタ）を抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。
  - 水を使う場所や湿気の多いところで、本製品やコンピュータ本体を使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
  - 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。
  - 本製品やパソコン本体に、水などの液体や異物が入った時は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあとご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
  - 風通しの悪いところに設置する、布を掛ける、じゅうたんや布団の上に置くなど、通気口をふさいだ状態で使用しないでください。通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。
  - 本製品の周辺に放熱を妨げるような物や熱器具を置いたり、加熱しないでください。
  - 本製品やパソコン本体から煙が出たり異臭がした時は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
  - 本製品の接続、取り外しの際は、本マニュアルの指示に従ってください。強引な着脱は、機器の故障や、火災、感電の恐れがあります。
  - 本製品の使用中にデータが消失もしくは破壊された場合、理由の如何に関わらず、データの保証は一切いたしかねます。必要なデータはバックアップするようにしてください。
  - 本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。機器の故障やデータ損傷の原因となります。
  - 本製品やパソコン本体を次のようなところで使用、保管をしないでください。
    - ・不安定な場所
    - ・振動のある場所
    - ・高温/多湿な場所
    - ・衝撃のある場所
    - ・傾斜面
    - ・たばこの煙
    - ・腐食性ガス雰囲気中
    - ・ホコリの多い場所
    - ・直射日光の当たる場所
    - ・水気の多い場所(台所、浴室など)
    - ・強い磁気が発生する場所
    - ・暖房器具の近く
    - ・飲食物の近く
    - ・静電気の影響を受けやすい場所
  - 本製品の稼働中に電源コードや、接続ケーブルなどを抜かないでください。機器の故障やデータ損傷の原因となります。
  - 本製品のコネクタ部分には触れないでください。故障の原因となります。
  - 本製品や付属物の上に物を置かないでください。傷がついたり、故障の原因となります。
  - 本製品を移動する時は、ACアダプタから取り外してください。機器の故障やデータ損傷の原因となります。
  - 本体が熱いときはさわらないでください。本製品が動作中や停止直後は、本体が熱い場合がありますのでご注意ください。
  - 本製品内部を結露させたまま使わないでください。本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となります。再度使用する場合は、時間を置いて結露がなくなってからご使用ください。
  - 本製品を廃棄もしくは譲渡の際は、以下の内容にご注意ください。ハードディスクのデータは削除やフォーマットを行っただけでは完全に消去されたことにはならず、特殊なソフトウェアなどを利用することにより、データを復元、再利用される可能性があります。情報漏洩等のトラブルを回避するためにデータ消去ソフトやサービスをご利用いただくことをお勧めいたします。本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

## 故障かな？と思ったら

弊社では、「カスタマーサポート」の専用回線を設置しております。お問い合わせは、下記にてお願いします。また、弊社Webサイトでは、製品情報、製品に関するトラブルシューティング、ドライバソフトおよびソフトウェアのアップデートサービスなど、最新のサポート情報を公開しています。お問い合わせの前にご確認ください。

### ヤノ販売株式会社 カスタマサポート

住所: 〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟2F  
Tel. (078) 646-7305 Fax. (078) 646-8983  
電話による受付時間: 月曜日から金曜日まで（祝祭日、特定休業日は除く）  
午前9:30～12:00 / 午後1:00～5:00

Web : [www.yano-sl.co.jp](http://www.yano-sl.co.jp)

E-mail : [info@yano-sl.co.jp](mailto:info@yano-sl.co.jp)

### ヤノ販売株式会社

〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟2F Tel. 078-646-7303(営業) Fax. 078-646-8982  
E-mail: [info@yano-sl.co.jp](mailto:info@yano-sl.co.jp) Web: [www.yano-sl.co.jp](http://www.yano-sl.co.jp)

